

平成 23 年 12 月 5 日

## 校正用線源 の所在不明について

モニタ値を適正に保つための微量放射性物質

平成 23 年 11 月 25 日，島根大学医学部附属病院では，B 病棟 4 階改修工事において，線エリアモニタ（外形寸法：縦 30 c m \* 横 68 c m \* 奥行 26 c m）の所在が不明となっていることが判明し，現在探索を行っております。（別紙参照）

本モニタの内部には，密封された線源が内蔵されておりますが，線量が 3.33 MB q と弱い放射線であるため放射線障害の恐れはありません。

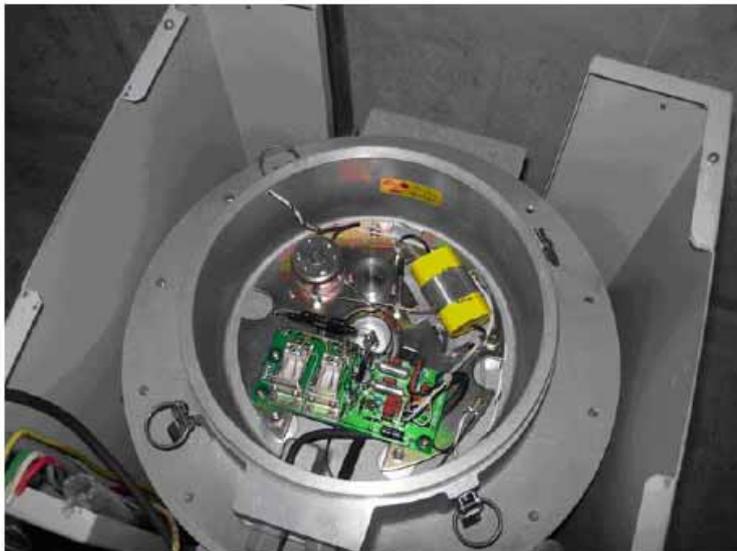
また，仮に密封が解かれた場合でも，線源から 50cm 離れた場所での線量は毎時 0.03 マイクロシーベルト程度であり，この量は 3 か月連続で浴び続けた場合でも胸部 X 線検査 1 回受診程度です。

（関連 HP：[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/anzenkakuho/news/trouble/1313628.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/anzenkakuho/news/trouble/1313628.htm)）

本モニタの所在について，何らかの情報をお持ちの方がおられましたら，島根大学医学部総務課（ 0853-20-2011 ）まで連絡願います。



写真：所在不明となったエリアモニタの外観※



写真：所在不明となったエリアモニタの内部※



写真：内蔵されている放射線源※